

町道改良

大井川馬荷線 完了予定は 9年後の令和13年度を



おなが まさひろ
小永 正裕 議員

問 町道大井川馬荷線の改良計画の全体像について問う。

着工時期と、その後の進捗状況は。また、計画を変更したことはあるか。また、町の説明によると、福堂の方から工事を開始して5年で猪を飼育していた所まで、後の5年で大井川まで完了との説明だったようだが、何年度に完了予定か。

答 金子 まちづくり課長

町道大井川馬荷線は、平成27年度に測量設計を実施し、平成29年から工事に着手している。計画延長は814メートル、道路幅員5メートルの道路計画で、起点が大井川の県道大用大方線へ繋がるところから、終点を馬荷福堂の町道馬荷線へ接続する改良事業。

本年度も改良工事を継続して実施し、今月末に完成予定となっている。全体的な事業の完成見込みは9年後、令和13年度を予定している。



工事中の町道大井川馬荷線

令和4年度末時点での進捗率は、約40%となっている。年間約5300万円ペースで事業進捗を図っている。

この事業を始めるにあたって、大井川地区、馬荷地区それぞれ、地元説明会を行いルートの選定を経て決定をしている。その後、設計委託業務

を行い、ルートが決まった段階でも説明会を行い、総事業費が5億円。年間5千万円ペースで10年という説明はしている。

最後の仕上げは、県道大用大方線に接続するため、加持川を渡る橋梁の設計を行い、橋梁の施工及び橋梁への取りつけとなる。

高規格道路

ルート決定時 議決したか

当町での必要性なしと認識

問 決定されたという佐賀大方高規格道路について問う。

このルートは、平成14年に作成された大方町都市計画マスタープランに基づいているとのことだが、その際、町議会の議決はしているか。

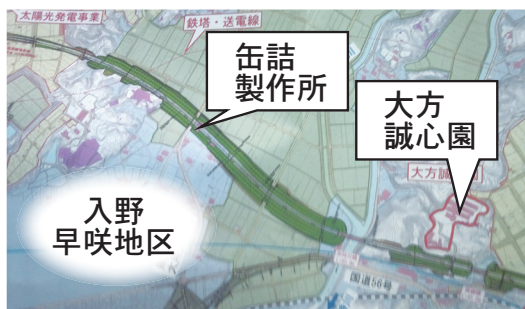
また、この法線になれば、地方自治法に反する可能性はないのか。

答 河村 建設課長

このルートは、平成14年に作成された大方町都市計画マスタープランに基づくものではなく、国土交通省の計画段階評価の中で、地域の意見を踏まえ、複数案の比較評価を行い、事業の必要性及び事業内容の妥当性が検証され、高知県都市計画審議会において決定され

たものであり、当町議会の議決の必要性がないものと認識している。

また、このルートについては、国が所定の手続きを経て決定したもので、地方自治法に反することはないと認識している。



高規格道路ルート図
(緑塗部：発表当時)